

まるやま



2019年度
森町立天方小学校
令和元年6月28日

NO.4

人とのかかわりの中で

6月の会礼で「しあわせのバケツ」(キャロル・マッククラウド作)というお話を紹介しました。

- ・ 見えないけれど、人はだれでも「しあわせのバケツ」をもっている。
- ・ まわりの人の「しあわせのバケツ」をいっぱいにするのは簡単。自分がされてうれしかったことを相手にするだけ。
- ・ まわりの人の「しあわせのバケツ」をへらすのも簡単。自分がされていやだったことを相手にするだけ。
- ・ まわりの人の「しあわせのバケツ」をいっぱいになると、自分の「しあわせのバケツ」もいっぱいになる。
- ・ まわりの人の「しあわせのバケツ」をへらすと、自分の「しあわせのバケツ」もへってしまう。
- ・ さあ、あなたは、まわりの人の「しあわせのバケツ」をいっぱいにしますか、それとも「しあわせのバケツ」をへらしますか。

こんなお話でした。

「しあわせ」を得る方法は、2種類あると思います。

一つ目は、自分自身で「しあわせ」を得ること。努力をして何かを達成するとか、何かができるようになるということです。

二つ目は、人とのかかわりの中で「しあわせ」を得ることです。誰かのためになった、協力して何かを達成できた、というようなことです。

学校では、この両方の「しあわせ」を追求しています。

学校教育目標：自ら考え行動できる子

重点目標：人と関わり合い自分を伸ばす子

学校教育目標でもある、自ら考え行動することによって得られる「しあわせ」と、重点目標の中にある、人とのかかわりの中で得る「しあわせ」。

自分で頑張ることも大切だけれど、相手の気持ちを考えて行動することも大切。そんな思いを込めてお話を紹介しました。

自分でがんばること(自立)と、人とのかかわりの中で生きること(共生)の両方が大切だということです。

お子さんの自立具合、共生具合はいかがでしょうか。

